

## ODO リーグマナーブック

このマナーブックはO.D.O. リーグ戦に参加するにあたって、一般に守られるべきマナーについて書かれています。

お互いが気持ちよくダーツを楽しむことができることを目指しています。一般的なリーグ戦の流れも説明しています。

### ■試合開始前

8時は試合開始時刻で集合時刻ではありません。8時から速やかに試合が開始できるように各チームはリザルトシートの準備はすませておいてください。

試合開始に遅れそうな時は、事前に相手のキャプテンおよび、リーグセクレタリーに必ず連絡をして下さい。

遅れてベニュー(試合会場)に着いた時には『遅れてすみません』と、一言相手チームに謝罪しましょう。試合開始時間を遅らせることや、セットの順序を入れ替えることは相手チームのキャプテンの了承の上で認められています。また両チームの合意があれば、試合開始を早める事についても問題はありません。

遅れてくるメンバーがいるときには、間に合わなかったときに出場する選手を括弧書きでメンバー表に記入して、提出しておいてください。2人以上がいればダブルス1セット、シングル2セットを先に行うことが可能です。

デフォルトは最悪の解決方法です。ゲストを頼むなど最大限の努力をして、可能な限りデフォルトは避けましょう。また、3人いれば試合は成立させることが可能です。その場合はダブルス1セットシングル3セットを行い、残りのセットは相手チームの勝利として計算します。しかし、相手チームにも迷惑がかかることなので、最終のデフォルト回避方法としてください。

応援等を含めて大人数でアウェイベニューに行くときは、その旨を事前にベニューに確認しましょう。

ベニューによっては大人数では着席できない場合もあります。

## ■試合開始

開始時間になりましたら両チームともユニフォームを着て整列しホームチームのキャプテンが司会をして挨拶をしましょう。

この時点でユニフォームを着ていない人はゲストかユニフォーム忘れです。

初めて対戦するチームではメンバー紹介を行いましょう。

## セットの開始

セットの開始前には、2スローの練習を行うことができます。

ただし、試合時間のことを考慮して、チーム戦では最小限に留めるようにして下さい。また、対戦相手がトイレなどでゲームの開始まで時間がかかりそうなときは、対戦相手のチームメンバーに『練習スローを続けていてもよろしいですか?』と、一言断ってから練習スローを続けることは問題ありません。

セットの開始前には、必ず『お願いします』と挨拶をしてからゲームを始めましょう。

## ゲーム中

プレイヤーがそのスローが終わるまでは声掛け等せず静かにしましょう。

特に相手チームのプレイヤーがスローをしている際は注意します。『ナイスダーツ』等の声を掛ける行為はスローが終わってからにしましょう。ただし、次のプレイヤーがスローラインに立ち、スタンスに入ったら静かにしましょう。

相手チームの素晴らしいプレイに、『ナイスダーツ!』等の声を掛けるのは、よいことです。

自チームのメンバーが、プレイヤーにアドバイスをすることは認められています。しかしながら、周りの人に迷惑にならないよう配慮をして行うようにして下さい。また試合中、アレンジ等のアドバイスはかまいませんが、試合進行の妨げになる場合もありますのでプレイヤーは、アレンジや計算を習得するように心がけましょう。

相手チームのプレイヤーに点数やアレンジを教えることは無用なトラブルになる場合があります。

すのでやめましょう。

得点のコールは、必ずダーツを抜く前にコールしましょう。

コールした点数の間違ひは自分の次のスローの前に限り訂正できます。

プレイヤーは、はっきりとコールしましょう。たとえどんな点数でも小さな声でコールすると「コールされなかった=0点」とみなされかねません。

コールする点数の計算ができにくい場合は自チームの人にどこに刺さっているかを伝えて、計算を手伝ってもらおう等して下さい。

その際も最後はプレイヤー自身が点数をコールします。

ワイヤー際でどちらの点数かはっきり見えにくいダーツは、スコアラーや対戦相手が確認できるようにダーツを倒す等をして分かりやすくしましょう。

倒して確認させなかったことで起こったトラブルはありますが、倒したことで起こったトラブルはありません。

センター勝負のダーツは勝負の判定がつくまで触らないようにしましょう。

斜めの方向の状態で刺さっているダーツを起こしてしまうと、刺さっている位置がずれてしまいます。

センター勝負では先に投げたほうが勝利した場合は『ファーストです』、後に投げたほうが勝利した場合は『セカンドです』と、コールします。アゲインの場合は『アゲインです』と明確にコールしましょう。

センター勝負において、アゲインの際はボード上から全てのダーツを必ず抜くようにします。

フィニッシュダーツを決めた場合は『〇〇本目です』と、コールします。その他の言葉でも構いませんが、相手にフィニッシュしたことが明確に伝わるようにします。

センター勝負やフィニッシュを決めたダーツは、相手の確認を待ってから抜きましょう。

試合中にダーツボード並びに、ダーツスタンド等を修正する行為は原則的に行わないこととしますがやむ終えず修正等をする場合は、必ず対戦チームの許可を取った上で行うこととします。

スローの間隔は何秒までといった規定はありませんが、スローイングエリアが空いているのにタバコを吸ったりドリンクを飲む等をして、むやみに進行を遅らせてはいけません。しかしながら、スローイングエリアで精神集中を図ったりすることはマナー違反ではありません。また、フライトやシャフトの破損で交換に時間を要するときは対戦相手に一言声を掛けましょう。

スローラインに立った場合は、シャドースロー等を行わないようにしましょう。 またスローラインに着いていなくても、過度なシャドー等で試合進行の妨げを行わないで下さい。

ダーツを投げたとみなされるのは、ダーツを構えて引き始めた時点から後に手から離れた場合です。

それ以前は落下したとみなして再投することができます。見極めが難しい場合は対戦相手に確認を求めましょう。

ダーツがどこに刺さったかを確認したい場合は、「失礼（します）」や「チェック（します）」等と 対戦相手に声を掛けてから、ボードに近づいて確認します。 その際はダーツに触れてはいけません。ダーツに触れた場合は、そのスローは終了したとみなされます。

バースト後にダーツを投げる行為は、重大なマナー違反です。

バーストしていないと勘違いして投げてしまった場合も、その旨を対戦相手に一言謝罪しましょう。

フィニッシュしていたにもかかわらず、ダブルに入っていなかったと勘違いして投げた場合は、そのダーツは無効として扱います。フィニッシュした時点でレッグが終了したとみなされるからです。

スコア・リザルトシートに関して

日付、ディビジョン、チームコード、チーム名（略は不可）、名前、ODO ナンバー等を必ず記入すること。

特に名前は、フルネームで記入すること。

ガロン・ダブルスのスロー順は、原則的にメンバー表の通りとする。

スコアシートのチェックはプレイヤーの義務です。つまりスコアリングシートの記入・計算の責任はプレイヤーが負います。

計算間違い等が起きてもスコアラ（キーパー）の責任ではありません。同時にスコアラはプレイヤーに無断でミスの訂正を行ってはいけません。スコアラによるコールの聞き間違い、計算のミスはプレイヤーによって正されますので自分でも必ずスコアの確認はしてください。

スコアラがミスを訂正する際は必ずプレイヤーに確認を求めます。ただし、プレイヤーが次スローに入った場合はそれを正しいものとして、訂正を行ってはいけません。スコアはスコアシートに書かれた数字が正しいものとしてゲームを行います。

パソコンによるスコアリングソフトを併用していても、スコアシートとパソコンで食い違いが発生したときはスコアシートが正しいものとしてゲームを続行します。数回前に戻って、スコアシートの訂正を行うことはルールで認められていません。

パソコンのスコアリングソフトの操作をアウェイチームが行うルールはありません。

パソコンは補助機器であり、ルール上は一切規定がされていないのでパソコンのみでの進行は不可です。

スコアラはアレンジを教えることはできません。あくまで中立な立場としてスコアリングを行います。

スコアラが話しをすることができるのは、プレイヤーがスローをする前に、残り点数等を質

問した場合や1ダーツ、2ダーツ目を投げた後に、そのスローで何点取っているかを確認する場合のみです。『残り2スローです』、『〇〇点残りです』等の発言はしないで下さい。

#### セットの終了・試合の終了

セットの勝敗が決したときは、お互いに握手をして『ありがとうございました』と、挨拶しましょう。

試合が終了した際はリザルトレポートに結果を記入し、両チームのキャプテンがサインをします。

リザルトレポートは両チームのキャプテンが全日程のリーグが終了するまで必ず保管してください。

リーグ集計の報告は両チームそれぞれで行います。 ゲーム終了後、48時間以内に「事務局」にFAXにて報告をして下さい。 報告無き場合はポイントは計算されません。 ODO事務局  
FAX：06-6691-8500

リザルトレポートへのサインが終わったら、両チームとも整列し、ホームチームのキャプテンの司会で試合の結果報告と挨拶をしましょう。

#### その他

試合中は他のボードでダーツを投げてはいけません。 不正な練習スローとみなされます。 ボードが隣り合っていないという問題ではなく試合が始まってからの練習スローは不可です。 ソフトチップダーツであっても投げてはいけません。

セット直前の練習2スローを早く終わらせるために他のボードを使用する場合は、なるべく隣り合ったボードを使用しましょう。

このリーグ戦は、バーやパブで行われることがほとんどです。 お店である以上お酒が提供されますが対戦相手や他のお客様に迷惑のかからないよう、節度を持って飲みましょう。また、

当然ながら運転をされる方は絶対に飲酒してはいけません。

## 服装その他

リーグ戦参加者は、ODO 承認のユニフォームを着用、または公認シャツを着用の上、試合に出場します。

ユニフォーム忘れはゲスト扱いになる為、当日のリザルトは個人記録には残りません。

帽子・バンダナ・タオル・サングラスなどは試合中は使用しないでください。

上記以外にも、人としての基本的なマナーもたくさんあると思われます。決して、この文章の裏をかくような行為は好まれることではありません。また、服装などについての嗜好の是非は千差万別個人個人によってすべて感じ方が違う事は当然の事で日常生活のファッションの議論をするものではありません。このマナーブックは ODO のリーグに参加するならこのようにして欲しい。というお願いをしているものです。競技規則や規約というものではありません。

上記に書かれたことを守れない、守りたくないと言う人は、リーグには参加しないで頂きたいと考えます。